



# ふじはし

平成25年9月10日  
青梅市立藤橋小学校  
学校だより25の10号

## 学力について

校長 内野 雄史

2020年のオリンピックの開催都市が東京に決まりました。7年後です。今の小学6年生は大学1年生の年齢になっています。

選手強化が今まで以上に進められることでしょう。努力と巡り合わせによっては、藤橋小学校の卒業生が東京オリンピックに出場するかもしれません。



さて、今年度の「全国学力・学習状況調査」（6年生）と東京都の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（5年生）の速報値が出されました。本校の結果は、すべての教科で全国や東京都の平均を大きく下回りました。児童本人及び保護者の皆さまには結果を別途お示ししますが、「このままじゃまずい」と感じる人が少なくないことでしょう。

では、「学力」「勉強」は何のために必要なのでしょうか？

### 1 よりよく生きていくため

生きていく中で様々な問題に出くわします。その問題を解決するためには、知識や工夫、応用力、行動力などが必要となります。こういう力は学習を通して身につけていきます。

### 2 「自分っていいな」と思えるために

自尊感情や自己肯定感が重要だと言われます。「自分は勉強ができない」という思いが「自分はダメな人間だ」という思いにつながってしまいます。自分の成長を実感することで、「自分っていいな」と思えるようになります。

### 3 わからない授業を受け続けるのはつらい、時間ももったいない

残りの小学校生活だけではなく、中学校や高校に行っても授業を受けます。わからない授業を受けるのは苦痛です。そんなつらい時間が何千時間も続くのです。時間の損失でもあります。

心を入れ替えてがんばろうと思っても、小学校レベルの学力がないと取り返すことはできないと言われています。

### 4 進路の選択肢が広がる

絶対評価ですから今は他校は関係ありません。しかし、高校入試等では他校生と可否を争うことになります。学力が高いとたいていの学校に進学することができます。学力が低いと「行きたい」学校の入学試験で不合格になってしまいます。選択肢や可能性を広く大きくしておきたいものです。

### 5 問題行動を起こさない

授業がわからないと授業に出たくなくなります。授業を妨害したくなる気持ちも生じます。中学校教員でしたので、「勉強がわからない、つまらない」ということで、不登校になったり問題行動を起こしたりした子をたくさん知っています。

藤橋小学校では授業改善推進プランを作成し、学力向上に取り組んでいきます。青梅市教育委員会からは子供用の「家庭学習のすすめ」が配布されます。ご家庭におかれましても子供とのコミュニケーション、「早寝早起き朝ごはん」やしつけ等についてよろしく願いいたします。



結局、家庭の中のコミュニケーションが一番大切だと思います。＜中略＞僕らが今もっているデータでフェアに言えるのは、ゲームをやっても(脳の)前頭前野は活性化しないということです。＜中略＞結局、ゲーム自体が悪いのではなくて、ゲームによってそのほかのアクティブな時間がとられてしまうことが一番よくないのではないかって。特に小さいときには、その影響が大だろうと思って。友達と遊ぶべき時間に遊ばない、親と話しながら食事をする時間が削られていく。テレビゲームの害があるとすれば、まさにそこだろうと。

(川島隆太「子どもを賢くする脳の鍛え方」小学館)

# ☆ 藤橋小の学校生活の様子 ☆

☆ 学校生活の様子を写真で報告します。

8月中旬から9月上旬



縦割り班で清掃を行っています。

9月29日(日)は創立30周年記念運動会です。  
ぜひご来校して子供たちに声援をお願いいたします。